

2023年3月吉日

報道関係各位

一般社団法人 日本抗加齢医学会広報委員会

## <ご案内とご参加取材のお願い>

### 2023年度日本抗加齢医学会 WEBメディアセミナー 特別企画 少子化の現状対策をアンチエイジング医学から考える

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

一般社団法人 日本抗加齢医学会は、WEBメディアセミナーを下記の通り開催いたします。

ご参加登録は、オンライン登録にて2023年4月3日(月)までにお問い合わせ申し上げます。

多くのご参加をお待ち申し上げます。

敬具

岸田文雄首相は、「従来とは次元の異なる少子化対策を実現したい」と意気込みを語りました。その施策とは、①児童手当等の経済支援、②幼児・保育サービスの拡充、③育児休業強化等仕事と育児の両立支援、以上3点を検討するとのことでした。育児ばかりに意識を向けた少子化対策は、果たして解決への近道となり得るのでしょうか。一方で、増加する不妊症や未婚率など、医療現場を通して見えてくる課題も決して少なくはありません。

日本抗加齢医学会では、この度“特別企画”として、男性医療・女性医療それぞれを専門とされるお二人の先生に、アンチエイジング医学の観点から、少子化の課題や現状対策について解説いただきます。

## 記

◇日 時： 2023年4月4日(火)15:00~16:20 (受付開始 14:45~待合室対応)

◇会 場： WEB お申込み登録の返信にて、開催 URL をお送りします。

◇参 加： 無料/事前登録制

◇司 会： 中神 啓徳(日本抗加齢医学会広報委員会委員長)

大阪大学大学院医学系研究科健康発達医学寄附講座 教授)

◇講 師： 井手 久満 先生 (獨協大学埼玉医療センター泌尿器科低侵襲治療センター 教授)

太田 邦明 先生 (東京労災病院産婦人科 部長)

◇参加登録 URL:

オンライン登録はこちらから

<https://www.anti-aging.gr.jp/ci/seminar230404/>



(QRコードからもご登録が可能です)

## ご参加の際のお願い

- 本セミナーは、Zoomによるライブ配信となります。著作権は日本抗加齢医学会に帰属します。講義の録音・録画はご遠慮ください。
- 無断でのご利用、第三者の閲覧はお断りします。WEB配信における情報の取り扱いにご協力をお願い申し上げます。
- 情報を利用しての情報配信、記事化は講演者の承諾を得たうえでお願いいたします。

## 演者へのご質問について

チャット機能を使い、司会の中神あてに、質問事項(簡単で結構です)、お名前、ご所属先をお知らせください。WEBで指名をさせていただきます。多くのご質問をお待ちしています。

## 4月4日(火)WEBメディアセミナー 抄録

### 講演1 : 男性医療からみた少子化の現状と対策

井手 久満 先生(いで ひさみつ)

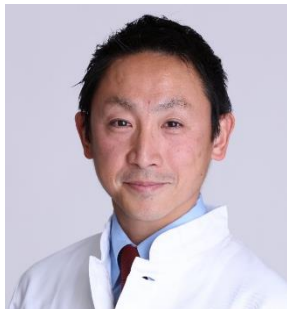


「2022年の出生数は80万を割り、79万9728人」という衝撃的なニュースが飛び込んできました。これは第一次ベビーブーム(1947～1949年:出生数約270万人)の時の3分の1以下となります。国勢調査によると男性の生涯未婚率は3割を超え、さらに女性と付き合わない男性が増えていると言います。少子化の原因は様々な要因が考えられますが、男性ホルモンであるテストステロンの変動から若者の草食化や不妊の現状と、男性医学からみた少子化対策についてご紹介したいと思います。

### 講演2 : ヒトの生殖機能にアンチエイジングは可能なのか？

～不妊治療でできること・できないこと～

太田 邦明 先生(おおた くにあき)



晩婚化の現代において不妊治療は、ヒトのエイジングへ抗する術として確立されてきました。しかし、年間の出生数79万9728人という数字は、国が2033年ごろに達する数字として見込まれていたものであります。つまり、生殖機能に関しては10年もエイジングが加速化されたことを意味します。本講演では、現在の不妊治療について概説し、失われた10年間を取り戻すべく、少子化へ貢献するか論じたいと思います。

### 司会

中神 啓徳 先生(なかがみ ひろのり)

<本件に関するお問い合わせ先>  
日本抗加齢医学会 広報委員会事務局  
TEL : 03-5651-7500  
e-mail : pr@anti-aging.gr.jp